

東京医科大学 英語

2026年 2月 4日実施

第1問

1. ③ 2. ③ 3. ④ 4. ① 5. ② 6. ④
7. ④ 8. ①

[解説]

1. exposure to 名詞 (expose A to B の形が分かっているなら余裕)
尚, be vulnerable to A ⇔ be susceptible to A ⇔ be subject to A は知っておきたい。
2. drastic change 「劇的な変化」 のコロケーション。
3. 兄弟が「似ている」という文脈。identical しかない。
4. context を選ぶ人がいるかもしれないが、「家族」ではふつう使わない。
5. serious な () に直面しているという文脈に合うのは②しかない。
6. over lunch 「昼食をとりながら」という頻出表現。
7. 睡眠パターンの変化が肉体的精神的健康に (影響を与える) のような意味が欲しい。尚, 変化表現+in ~ 「~が増加 / 減少 / 変化すること」は頻出。
8. credit for ~ 「~の功績・手柄」 / 賞など go to 人「人に与えられる」

第2問

- 9-10. ⑤-① (③⑤⑥①④②)
11-12. ②-① (③⑤②⑥④①)
13-14. ①-③ (⑥⑤①②③④)
15-16. ②-③ (②⑥④①③⑤)
17-18. ①-④ (①③④⑤⑥②)

[解説]

- 9-10. Equal opportunities would allow everyone (to pursue their) dreams.
11-12. (A loud) complaint (regarding) noise (in the library) came to my attention.
13-14. With the bus drivers on strike, (many people had to get to work using alternative means of transportation.)
付帯状況の with に気づけるか, on strike 「ストライキ中」を知っていたが勝負。
15-16. Last year saw heavy rains which (caused floods in the town.)
年月 see / witness 出来事 「年月に出来事が起こる」が分かるかが勝負。
17-18. (Many people fail to live up to their potential, but just) as many push themselves to go (beyond it.)
as many 「それと同じくらい多くの」はよく出る表現。比較対象が省略されている。
oneself は S と O が原則一致するため、それが分かれば余裕だろう。go beyond A 「A をこえる」は常識。

第3問

19. ② 20. ① 21. ① 22. ① 23. ② 24. ④ 25. ⑥
26. ④ 27. ② 28. ④ 29. ②

【解説】

19. **comprise** は「(S が) ～から成る」「(S が) ～を構成する」という真逆の 2 つの意味をもつ他動詞であるが、ここでは後者と解釈し、「女性が日本の全引きこもりの半分を構成している」とすれば文意が成立する。

20. **visibly** 「目に見えて」という副詞がかかっていること、また引きこもりの女性について述べているという文脈から、**apparent** 「明らかな」がふさわしい。**It was visibly apparent (that) she remained nervous** から、接続詞 **that** が省略された形。

21. 「彼女は通勤のための電車賃を払うお金すら_____」という文脈から、**lacked** 「欠いていた」が適切だと分かる。

22. 「多くの人々が職を失っている、悪化しつつある経済_____、彼女は…」という文脈から、**amid** 「～の真っ只中で」が適切だと分かる。

23. 引きこもりの定義について述べた一節であることから、**leave their homes or rooms** を半ば否定するような要素が来るのではという推定に立つと、**barely** 「かろうじて、やっとのことで (…する)」を選べる。

24. **each shared the troubles (that) they carry _____ their lives** という構造で、関係詞節内の **carry** の目的語が先行詞 **the troubles** にあたるという関係性を考えれば、空所に **in** を補い、**they carry the troubles in their lives** という文を復元することで正答に至る。

25. **turn out to be** ～ 「～だと判明する」は極めて頻出表現。

26. 第 12 段落第 2 文で述べられた、**widely defined hikikomori** 「広義の引きこもりの定義」に対応するのが④「趣味以外でほとんど家を出ない、あるいは 6 ヶ月以上公的な雇用をなされていない」人々である。ただし、この **formal** 「公的な」に対応する表現が本文にないため、完全な言い換えになっていない点でやや疑義が残る。

27. 第 5 段落第 1 文に、女性は家業のある家庭に生まれ、オフィスワーカーとして働く生活を夢見ていたことが述べられている。

28. 第 7 段落の最終 2 文で、IT スキルのインストラクターとして働いたものの、受講生にやる気がなく文句を言われるばかりであったことが述べられている。

29. ②が誤り。「女性の引きこもりの増加は、旧来の家庭での役割を選択する女性にのみ (solely) 原因がある」とは述べられていない。

第4問

a.

30. ④, ⑦, ⑪, ⑫

b.

31. ① 32. ② 33. ② 34. ④ 35. ① 36. ③ 37. ③

c.

38. ② 39. ② 40. ② 41. ② 42. ④

[解説]

30.

①→誤り。第2段落最終文に、調理法によっては栄養素が減少しうることが述べられている。

②→誤り。第3段落第1～2文で、逆の結果を示した研究もあることが述べられている。

③→誤り。第14段落第2文より、more than 8%ではなく4%が正しい。

④→正しい。第6段落において、被験者について説明されているが、3つの集団のいずれもが「看護師」を構成員としており、また年齢は25歳から75歳と述べられているので、合致している。

⑤→誤り。そのような記述は本文中に存在しない。

⑥→誤り。そのような記述は本文中に存在しない。

⑦→正しい。まさに第15段落の内容に合致。T2D発症の12～20年前のジャガイモ摂取との相関が最も高いと述べられている。

⑧→誤り。第10段落第3文に反対の内容が書かれている。

⑨→誤り。第14段落最終文に、白米を食べることによってT2Dのリスクは増加すると述べられている。

⑩→誤り。概ね第2段落第2～3文と同じ内容が書かれているが、fiberではなくstarchが正しい。

⑪→正しい。1989年に被験者となった人の中で最も若かった人が25歳であり、2026年にはそれから37年経過していることになるので、62歳となるはずである。

⑫→正しい。第11段落において、1週間にジャガイモ料理を7皿以上食べている人は、1皿未満の人よりもリスクが12パーセント高いと述べられており、選択肢の10パーセント以上に合致する。

31. substantial「相当な」より、considerableが意味が最も近い。

32. inconclusive「確定的でない」より、uncertainが意味が最も近い。

33. modest「控えめな」より、slightが意味が最も近い。

34. a decade＝10年より、decades「数十年」である。

35. assess「～を評価する」より、analyzedが意味が最も近い。

36. exclude「～を除外する」より、omittedが意味が最も近い。

37. primarily「主として」より, predominantly が意味が最も近い。

c.

38. この研究では, ジャガイモを, 炭水化物を含まない野菜や全粒穀物, 白米などに置き換えることで, T2D のリスクが減少するかどうかを調査したことが本文全体の内容から読み取れる。

39. 第 8 段落において, 年齢やジャガイモ摂取についてアンケートに回答しなかった人は, 研究から除外されたことが明らかにされている。

40. ジャガイモが食物繊維を含まないから病気のリスクが高まるとした研究については, 本文に言及がない。

41. 第 10 段落において, 1 週間に 3 皿ジャガイモの摂取を増やすことによって, T2D のリスクが 5%高まるという研究結果は示されているが, 2 倍になるという数字はどこにも出てきていない。

42. 本文最終段落において, 白米については, ジャガイモと置き換えることでリスクが高まるということが述べられている。

【総評】

文法・語法＋語句整序＋長文 2 題の大問構成は昨年度と同様。ただ, 最終大問で過去 6 年間出題されていた記述問題が消滅し, すべてマーク式の設問となった。記述問題の代替としてか, 大問 4 c.で追加の内容一致問題が 5 問出題された。

大問 1 は 2 年前の出題と似ていて, 文法・語法というよりは語彙の問題であり, 純粋な知識を試す色合いが強い。大問 2 の語句整序は例年並みの難易度。昨年度は大問 1・2 がともに 6 問ずつであったが, 本年度は大問 1 が 8 問, 大問 2 (語句整序) が 5 問となった。大問 3・4 の長文は 2 本とも医学部としては比較的平易な部類であり, 過去に存在した 20～30 択の内容一致問題のような, 数多の受験生を苦しめてきた形式の長文問題もめっきり姿を消すなど, ここ数年の易化状態をキープする形となった。特に大問 4 の類義語選択問題は, 1 問たりとも落とさないことが望ましい。一次合格ラインは, 70%程度か。

昭和医科大学医学部Ⅱ期模試 2026.2.23^(月)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月19日(木) 15:00

会場 東京/大阪/福岡

聖マリアンナ医科大学[後期]模試 2026.2.18^(水)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月14日(土) 15:00

会場 東京/大阪/福岡

料金 8,800円(税込)



※内容は変更になる場合がございます。最新の情報はホームページよりご確認ください。↗

医大別直前講習会 2025-2026

後期・Ⅱ期

- 獨協医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 日本大学
- 埼玉医科大学
- 昭和医科大学
- 日本医科大学



◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください。↗

26 年度解答速報はメルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校

YMS

☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ

☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録



LINE 登録

